

「いい子になりますようにおまもりください！」

本日は七五三のお祝いをしました。

「今まで守っていただいたお礼と合わせて、いい子になるお願い」をお寺の本堂に最初はちゅうりっぷ・こすもす組、その後そら・ほし組と2交替で行いました。

朝からご家庭からていねいな服装で登園してきた子どもたちが、ちょっと緊張して集まり、年長の代表の子に①ろうそく・②お線香・③お花・④お菓子（千歳あめ）をあげていただきました。（代表の年長さんは2度行いました）

続いてお寺のお坊さんの姿で登場した園長先生から、最初にお釈迦様に日頃から子どもたちを守っていただいていることへの感謝の挨拶をしました。

「いい子になりたい人は手を挙げてください！」と子どもたちに聞くと、どの子も「は～イ」と元気良く手をあげました。「これからも益々いい子になるようにお釈迦様にお願いしましょうね」と全員そろって「いい子になりますようにおねがいします！」とお願いしました。お祝いに「子どもの世界」をうたって式典は終了し、そのあと理事長・園長から一人ひとりに「いい子になってくださいね！」と千歳飴の袋を渡し、本堂前で「千歳飴」をもって記念の写真を撮りました。



「千歳飴」について！

本日持ち帰りました手作りの「千歳飴」の袋は、一人ひとりていねいにのり付けしてつくりましたし、いろいろな色でスタンプングした模様は、いろいろとイメージを考えて工夫した作品です。袋の中には「千歳飴」が2本入っています。

「飴を食べると長生きできるのですが、自分ひとりで食べるのではなく、一番お世話になっている人に小さく切って『おせわをしてくれてありがとう！』と言ってあげましょうね！」と伝えてあります。順番にお世話してくれた大人や家族に『ありがとうございます！』と言って差し上げて、最後の一切れを『これからもいい子になりますようにおねがいします！』と言ってたべましょう」と伝えてあります。これからもステキで温かなご家族の中で育てていただければありがたいと思っています。

糊(ノリ)を使う経験を！

セロテープではなくノリを使って「袋」を作ることを今回は経験しました。手を汚さずに便利なものを使って「つける」ことがほとんどだとは思いますが、「のりづけ」の経験をご家庭でも親子でやってみましょう。



※明日絵本袋をおもたせください。よろしくお願ひします。